

事務事業評価シート

(H.28)No.	3051	(H.27)No.	3051
-----------	------	-----------	------

事務事業名	昭和水路かんがい用ポンプ場維持管理補助金		
担当部局名	担当室名	室長名	
産業部	農林資源室	吉岡 昌行	

会計区分	事業コード	321003
一般会計	(中事業名)※予算書事業名	
款 農林水産業費	かんがい排水施設管理費	
項 農業費	(小事業名)	
目 農業基盤整備費	昭和水路かんがい用ポンプ場維持管理補助金	

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	2 美しい自然に包まれた、憩いと潤いのある暮らし
	基本施策	3 新しい名張農業の振興と農山村の整備
	施策	1 農村環境整備
	小施策	5 計画的な集落環境整備
	重点施策コード	

2. 事務事業の概要

事業目的(めざす効果)
比奈知ダム建設に伴って、かんがい用固定堰が撤去されたことから、農業用水の取水方式をポンプ取水に変更したことによる維持管理経費に対して補助をすることにより、地区農業振興と用水の確保を図る。
事業内容
<対象者>昭和水路水利組合 <算出基礎>平成11年4月21日起案「新規事業の創設について」で前年度実績を元に一律100,000円を定額補助

3. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	H.27年度(事業量・取組実績)	H.28年度(事業量・取組計画)
主な事業の実績・計画	ポンプ場維持管理等定額助成: 100千円	ポンプ場維持管理等定額助成: 100千円

H.29年度(事業計画)	H.30年度(事業計画)	H.31年度(事業計画)
ポンプ場維持管理等定額助成: 100千円	ポンプ場維持管理等定額助成: 100千円	ポンプ場維持管理等定額助成: 100千円

	H.27年度(決算見込)	H.28年度(作成時予算額)	H.29年度(計画予算)	H.30年度(計画予算)	H.31年度(計画予算)	
①直接事業費	100千円	100千円	100千円	100千円	100千円	
内訳(千円)	国・県支出金					
	地方債					
	その他()					
	一般財源	(0) 100	100	100	100	100
人工数	職員	0.06人	0.04人	0.04人	0.04人	0.04人
	臨時職員等	0.01人	0.01人	0.01人	0.01人	0.01人
②概算人件費	(0千円) 473千円	321千円	321千円	321千円	321千円	
①+②総事業費	(0千円) 573千円	421千円	421千円	421千円	421千円	

4. 担当室による事務事業の点検 (*点検等による成果向上や見直しが困難な事業(法令等による義務的経費、災害復旧等緊急事業など)は点検対象外)

考察(H.27年度の取組評価、課題)	今後の対応方針(課題解決への取組、工夫・改善の内容)
補助事業の実施により、地区農業振興と用水の確保を図ることができた。	地区農業振興と用水の確保を図るため、引き続き維持管理経費の一部を助成することにより、地元受益者の負担軽減を図っていく。

点検項目	内容(施策達成への貢献内容、連携・協働の実践・検討内容)
(1) 事業内容や取組成果は、総合計画の施策達成に貢献しているか B(いずれかの施策指標達成に貢献又は基本方針達成に貢献)	ポンプ場の適正管理が図られ、農村集落環境の保全に貢献できた。
(2) 地域づくり組織、市民活動団体等との連携・協働は図れないか 実践している(※実践内容を記載→)	日常的な維持管理を地元水利組合が行っており、連携が図られている。

5. 今後の方向性(担当室による内部評価)

【選択肢】 継続(改善)、継続(現行)、継続(拡大)、継続(縮小)、統合検討、休止検討、廃止検討、事業完了(予定含む)	継続(現行)
具体的な見直し内容・検討内容、継続の理由	6. 事務事業の取組に関する主な市の計画
今後も施設の老朽化による修繕料等が増えていくことが予想されるため、地元受益者の負担軽減のため継続して支援をしていく必要がある。	